

1 開催日時，場所

- (1) 日 時 平成30年12月25日(火)午後1時30分から午後3時30分まで
- (2) 場 所 大崎市役所 東庁舎5階 大会議室

2 出席者等

- 徳 永 幸 之 (宮城大学 事業構想学部 教授)
- 今 野 勝 之 (弁護士)
- 佐々木 敬太 (司法書士)
- 畠 山 哲 治 (国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所契約事務管理官)  
(代理出席) 鈴木 光 晴 (宮城県土木部事業管理課技術副参事兼技術補佐 (総括担当))

3 議題

- (1) 職員アンケートについて
- (2) 業者アンケート及びヒアリングについて
- (3) 入札・契約事務検討会議における検討項目について
  - ・競争性の確保について
  - ・非公開情報の取り扱いについて
  - ・チェック体制の強化について
  - ・職員教育 (コンプライアンス) について
- (4) 報告書骨子 (案) について

4 審議の内容

- (1) 職員アンケートについて
  - アンケート調査の結果 (クロス集計) 概要の説明
- (2) 業者アンケート及びヒアリングについて
  - アンケート調査の結果及びヒアリング調査の結果概要の説明
- (3) 入札・契約事務検討会議における検討項目について
  - ・競争性の確保について
  - ・非公開情報の取り扱いについて
  - ・チェック体制の強化について
  - ・職員教育 (コンプライアンス) について
  - 上記4項目について，それぞれの課題と基本方針，具体的対応 (案) の説明

#### (4) 報告書骨子（案）について

##### ○報告書骨子（案）概要の説明

#### 5 主な意見

- 職員アンケートについて、経験を有する人、問題意識の高い人の意見をどう制度設計に繋げていくかが重要。
- 業者アンケート中の設問 19 関連については、既に公正取引委員会で調査が完了しており、市としてのこれ以上の対応は必要ないことを了承。
- 競争性の確保について、国交省の通達においてはダンピング防止等の観点から予定価格を事後公表としている。事前公表の検討にあたっては、業者の技術力や経営力を阻害することのないよう慎重に検討すべき。
- 非公開情報の取り扱いについて、自ら襟を正すという意味でも職員教育をしっかりとやっていただきたい。
- チェック体制の強化に関し、談合疑義案件のチェックについては、当面の試行の後は、金額が近い案件のみだけでなく、対象拡大について検討していくべき。
- 監視会議の審議案件の建設関連業務への拡大、会議開催の増の試行について了承。
- 報告書については、検討段階から携わっていても、これを初めて見る人が理解可能となるわかりやすい記述とするよう心がけるべき。
- 短い期間での取り組みに敬意。今後の制度改善の着実な実施とともに、フォローアップ、定期的に見直ししていくことを期待。